

きこえ・ことば

2024 年 5 月
小学部自立活動担当

保護者のみなさま、いつも発音の宿題のチェックや、お子さんとの取り組みなど、ご協力くださりありがとうございます。今年度も「きこえ・ことば」をお届けします。お子さんと一緒に読みながら話し合っているとありがたいです。

補聴器や人工内耳(プロセッサ)は1日何時間働いているの？

自立活動の時間を活用して、子どもたちに次のような質問をしました。



① 朝、補聴器や人工内耳（プロセッサ）をつけるのはいつ？

- ・起きてからすぐ ・顔を洗ってから ・ご飯を食べてから
- ・家を出るとき ・学校に着いてから



「起きてからすぐ」と答えた子どもは、2人いました。（5/29現在）一方で「起きてからしばらくの時間はつけたくない」という友達の発言を聞いて、「（自分にも）そういうときがある」と共感する子どももいました。

② 夜、補聴器や人工内耳（プロセッサ）を外すのはいつ？

- ・家に着いたらすぐ ・お風呂に入る前 ・夜ご飯を食べてから ・寝る直前

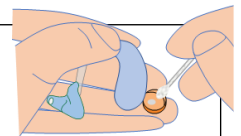
「家に着いたらすぐに外す」と答えた子どもが複数いました。このことから、家ではゆっくり過ごし、家の外では補聴機器を着けて聴くことに集中しているのだということが伝わってきました。また、お風呂から上がった後、寝るまでの間着けているという子どももいました。ほとんどの子どもたちが1日14時間以上補聴機器を装着しているということがわかりました。

③ みんなのために働いている補聴器や人工内耳（プロセッサ）に何とってあげたい？

- ・ありがとう ・いつも素敵な音を届けてくれてありがとう・・・「ありがとう」を口にする子どもたちが大多数でした。

今後、夏が増えたり梅雨入りしたりして、汗や湿気対策が必須の季節に突入します。

- ・汗をかいたら、顔や首だけでなく、補聴機器も拭く。
- ・寝る前には乾燥ケースに入れたり乾燥機にかけたりする。
- ・イヤモールドには耳垢がたまりやすいので、汚れていたら洗うようにする。
- ・電池ホルダーも清潔にし、金属部分にさびが付かないようにする。



上記のことを、子どもたちに伝えました。

ぜひご家庭でも、お子さんと一緒に補聴機器のお手入れをする機会を設けていただきますようお願いいたします。

1 階では「遠足に行こう」の大合唱 ♥

「遠足に行こう」(福尾野歩：作詞)という歌があります。私は初任校で通常の学級の担任をしていました。この歌は、当時の音楽専科教諭が受け持ちの子どもたちに指導していた歌です。あれからかなり長い年月がたっているのに、遠足の季節になると、必ず思い出し口ずさみたくなるのです。そこで、「遠足まであと 1 週間」というタイミングに合わせ、発音の授業の中で取り上げてみることにしました。(今回、歌詞を改めて調べたところ、当時の音楽専科教諭が一部改編して指導していることがわかりました。)

「遠足に行こう」(一部改編)

遠足に行こう みんなで行こう

遠足に行こう 何を持っていこう

リュック (リュック) すいとう (すいとう) おかし (おかし)

おべんとう (おべんとう) シート (シート) ごみぶくろ (ごみぶくろ)

遠足に行こう



低学年のクラスに出向いて、「遠足には何を持って行くの?」「遠足はランドセルで行くの?」「リュックで行くよ」などと、子どもたちとやりとりをしながら歌っていきました。授業を行うたびに、まさに「ろう学校の遠足の事前指導にぴったりの歌だな」と、実感しました。「ごみぶくろ」は 1 拍で発音しなくてはならないので、早口言葉の練習にもなります。「リュック (リュック)」「すいとう (すいとう)」のような「呼びかけっこ」の部分は、ライブ会場でのミュージシャンと聴衆のコール&レスポンスのような一体感を味わえます。短くて覚えやすい歌なので、低学年の子どもたちもすぐに覚えてくれました。1 年生のクラスでは、1 人ずつ先生役になり、遠足に持って行くものを先に言ってから、友達がまねをする、という活動を取り入れました。その後、「他に遠足に持っていくものは何かな?」と問うと、「ハンカチ」「ティッシュ」「こうはくぼうし」「くつ」「かみせっけん」「あせふきタオル」「(補聴器や人工内耳の) でんち」などと次から次へと答えが出てきたので、1 つ 1 つリズムに乗って楽しみました。これを機に、この歌が末永く子どもたちの「遠足」という記憶や経験の 1 つとして根付いてくれたら嬉しいと思っています。

あせふきタオルも
もっていくよ!



ほちょうきや
じんこうないじの
でんちも
もっていくよ!